

企業・団体と大学生が協働し、持続可能な社会に向けた解決策を大研究!

あいちの「人づくり」プロジェクト!



かがやけ★ あいちサステイナ研究所



かがやけ★ あいちサステイナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業・団体から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業・団体担当者とのディスカッションを実施します。解決策を企業・団体側に提案し、その成果を広くPRします。



パートナー企業・団体



課題提示

解決策提案



かがやけ★
あいちサステイナ研究所

[所長]
愛知県知事 大村秀章



[研究員]
未来の
あいちを担う 大学生



活動を
広く発信!

大学・イベント等での発表
公式WebページやSNS



X (旧Twitter)

2023年度
パートナー企業・団体
(五十音順)

Alpen Group
スポーツをもっと身近に

WOOD FRIENDS

 **株式会社 加藤建設**
KATO CONSTRUCTION CO.,LTD.

sangetsu 

Pasco

 **西尾信用金庫**

valor Holdings

Makita

2023年度の活動

6月25日(日)

開所式



企業・団体、ファシリテーター、研究員全員で顔合わせ。活動のキックオフ!

7月2日(日)・9日(日)

基礎講座



環境問題やSDGsの基礎を学ぶ講座を受講! 昨年度の修了生の貴重な経験談も聴講。

7月~11月

企業・団体の 課題研究



チームで企業・団体を訪問。環境取組の現場調査、企業・団体担当者とのディスカッションを実施。

7月~12月

チーム ミーティング



課題研究後、チーム内で振り返りや企画立案を実施。

10月29日(日)

中間発表会



研究成果を中間発表。成果発表会に向けて、発表内容をブラッシュアップ。

12月10日(日) **成果発表会・修了式**

パートナー企業・団体の環境課題

Alpen Group

スポーツをもっと身近に

株式会社アルペン



課題

スポーツを未来につなげるために、
スポーツ小売にできる新たなアクションを検討せよ

アルペングループでは「スポーツが溢れる未来」を実現するため、自然環境を守り、スポーツ愛好家を育む活動に取り組んでいます。小売業だからこそたくさんの人々と共に行動し、スポーツの力で未来を変えていけると信じています。そこで、スポーツを愛するたくさんの人々と共に、楽しみながら継続できるスポーツ小売ならではの新たなアクションを検討します。

WOOD FRIENDS

株式会社 ウッドフレンズ



課題

国産木材の利用を促進し、森林資源をサステナブルに
活用するための情報発信策を企画せよ

ウッドフレンズでは、戸建住宅等での国産木材利用を通じて、森林の価値向上を目指しています。日本の木材自給率は、近年上昇傾向ですが約40%と低く、まだまだ利用を拡大していく必要があります。そこで、国産木材の魅力や、林業を通じて森林を健全に保つことの大切さ、林業が抱える課題等への理解を促し、国産木材の利用を促進するための情報発信策を企画します。

株式会社 加藤建設

KATO CONSTRUCTION CO.,LTD.

株式会社加藤建設



課題

建設業が「SDGsに貢献できる憧れの職業No.1」に
なるための企画を検討せよ

安心安全な生活のためのインフラ整備等を担ったり、自然環境に最も近い場所で仕事をしたりと、建設業はSDGsと密接に関連する業種です。社会貢献により業界に新たな人材を呼び込み、その人材がより良い取組を生み出す好循環を目指しています。そこで、学生の目線で、建設業の魅力と価値を再発掘し、建設業がサステナブルな社会の実現に貢献するための企画を検討します。

sangetsu



株式会社サンゲツ



課題

サステナブルな社会へ繋げよう!
「みんな参加型のエコシステム」を企画せよ

サステナブルな社会の実現には資源の循環が不可欠ですが、インテリア業界においては、新しいものを作り、古くなれば廃棄する流れが未だに多くあります。商品やカタログのリサイクルの仕組みはあるものの、まだまだ不十分です。そこで、みんながエコな意識を持ち、みんなで取り組めるエコシステムの企画を検討します。

Pasco

敷島製パン株式会社



課題

健康で豊かな食生活に役立つ
サステナブルな製品・サービスを考案せよ

Pascoでは「食糧難の解決が開業の第一の意義であり、事業は社会に貢献するところがあればこそ発展する」という創業の理念を掲げています。社会や生活の変化に伴い、健康意識は高まり、食を取り巻く環境も変化しています。そこで、人々の暮らしに寄り添い、持続可能かつ健康で豊かな食生活の実現に貢献できる製品やサービスを考えます。

西尾信用金庫

西尾信用金庫



課題

にしんアプリやSNSを活用した
家庭や地域でのエコ活動を企画せよ

西尾信用金庫は今年で創立110周年を迎える県内で最も歴史のある信用金庫です。SDGsが掲げる「持続可能な社会の実現」は、地域と共存する信用金庫の命題であり、地域の皆様と共に取り組むことが重要と考えます。そこで、当庫の「にしんアプリ」を軸にSNSも活用した、誰もが手軽にエコ活動を始められる新たな企画を検討します。

valor Holdings

株式会社 バローホールディングス



課題

フードロス削減に向けて
子どもと取り組めるプログラムを提案せよ

バローグループは「サステナビリティ・ビジョン2030」を掲げ、持続可能な社会の実現に向けた全員運動を展開しています。スーパーマーケット事業を中核とした当社では、重点課題である「フードロス削減」での地域社会貢献は重要な使命です。そこで、将来を担う子どもの具体的な実践につながるメディア・SNS等を通じた発信、教材作成等を検討します。

Makita

株式会社マキタ



課題

環境配慮型製品の普及を促進し、
サステナブルな社会に貢献するためのPR戦略を検討せよ

マキタでは、排ガスゼロ・使用時燃料ゼロの環境配慮型製品（バッテリー式草刈機等）の製造・販売を通じて、サステナブルな社会への貢献を目指しています。しかし、環境配慮型製品の普及に当たっては、価格面や利便性の面でのハードルが高いことが多く、普及率が伸び悩むという現状があります。そこで、環境配慮型製品の普及を促進するための新たなPR戦略を検討します。

課題

スポーツを未来につなげるために、
スポーツ小売にできる新たなアクションを検討せよ

アルペングループでは「スポーツが溢れる未来」を実現するため、自然環境を守り、スポーツ愛好家を育む活動に取り組んでいます。小売業だからこそたくさんの人々と共に行動し、スポーツの力で未来を変えていけると信じています。そこで、スポーツを愛するたくさんの人々と共に、楽しみながら継続できるスポーツ小売ならではの新たなアクションを検討します。

解決策

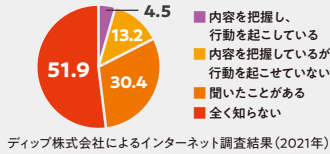
SDGs×スポーツイベント
～フォトギング～

課題解決の方向性
[考え方]

スポーツを楽しみながらSDGsを学び、仲間をつくることで、他の活動にも持続的に参加するきっかけになり、スポーツとSDGsを未来につなげることに。だからこそ新しいアクションとして、フォトギングを提案する。

日本社会の現状

最近SDGsを学ぶ機会がある。しかし20代のSDGsの関心が低い。また、関心があるが行動に移せていない。



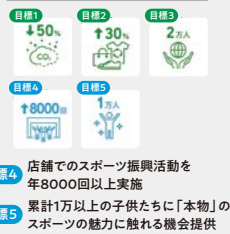
大学生をターゲットに!

アルペンの現状

環境問題に関心を持ち、たくさんの目標を立てながらアクションを起こしてきた。しかし一般の大学生を対象としたアクションは少なかった。

- 目標1 エネルギーの使用によって排出されるCO2を50%以上削減
- 目標2 アパレル、シューズ、バッグ商品の30%以上を環境に配慮した商品に切替
- 目標3 累計で2万人以上が環境保全に関する啓発活動に参加する機会を提供

2027年までの目標



フォト×ジョギング=フォトギング

- STEP 1 SDGsと同じ色の物やSDGsに関連する物をジョギングを行いながら写真に撮る。
- STEP 2 シルエット問題に挑戦しながら他大学の人とツーショットを撮る。
- STEP 3 撮った写真を共有し、学びを深める。
- STEP 4 仲間とともに活動に参加し、コミュニティーを広げる。

効果

ゲーム感覚で17の目標について知ることができ、地域の魅力に気付く

運動要素を取り入れることで達成感を促し、環境活動に前向きに参加してもらえる

今後共に活動する新しい仲間を見つけ、SDGsに関する活動に参加する人材を増やす

持続可能な社会へのポイント

- イベントを行うことでSDGsについて学び、考えてもらい、新たな仲間と他の活動に参加してもらうようなきっかけを作る。
- フォトギングを通して、自分たちの地域のことを知ってもらう。
- 体を動かすことの楽しさ、スポーツの良さを知り、スポーツをより身近に感じてもらう。
- 仲間と一緒に活動する楽しさを知ってもらう。



研究者
メッセージ

研究活動を通してスポーツというのはSDGsを伝えるきっかけになる良いツールだと思いました。私たちが考えたイベントを通して少しでも多くの人にSDGsについて興味を持ってもらい、新たな活動に参加する人が増えることを願っています。まずは小さいことから私たちにできることを始めてみませんか？

チーム
アルペン

愛知工業大学 3年 増田 柊一
星城大学 3年 沖田 藍花
愛知教育大学 3年 細見 洗旗
愛知学院大学 3年 原田 琴美

ファシリ
テーター

ピートープ・ネットワーク中部
会長 長谷川 明子



課題

国産木材の利用を促進し、森林資源を サステナブルに活用するための情報発信策を企画せよ

ウッドフレンズでは、戸建住宅等での国産木材利用を通じて、森林の価値向上を目指しています。日本の木材自給率は、近年上昇傾向ですが約40%台と低く、まだまだ利用を拡大していく必要があります。そこで、国産木材の魅力や、林業を通じて森林を健全に保つことの大切さ、林業が抱える課題等への理解を促し、国産木材の利用を促進するための情報発信策を企画します。

解決策

森林を知って行動する人になろう！ 学習ゲーム「ウッドフレンズアイランド」

課題解決の方向性
【考え方】

日本の森林の現状について知っている人が少ないことに着目し、気軽に森林循環の大切さを学んだり体験したりして、実際の生活に国産木材を使った製品を取り入れてもらうためのきっかけとなるようなオンラインゲームを検討した。

現在

日本の森林
管理不足による森林の荒廃が進み、環境面・防災面で、悪影響が及んでいる

国産木材
国産木材について知っている人が少なく、積極的な利用も進んでいない

これから

ゲームを通して森林や国産木材について知り、国産木材の使用を製品購入の基準にする

ウッドフレンズアイランド 活用方法

STEP1 知る

ゲームを紹介して、プレイ！

ウッドフレンズのイベントや
展示場を訪れた家族

対象

学校への出前授業や林間学校に
参加した子どもたち

STEP2 ゲームで学ぶ

自分の島にある森林を
管理して、国産木材を
使った生活をつくろう！

実際の森林循環の
流れを体験できる

健全な森林を育む
仕組みや、木材がどのように
使われているかを知る



他の人の島を訪れ、
参考にできる！



STEP3 使う



ゲームで学んだ知識から国産木材を
選ぶことを促したり、ゲーム内で獲得した
ポイントを国産木材製品に交換

サステナブルな
社会に貢献！

持続可能な社会へのポイント

- 国産木材の利用促進につながり、日本の森林が健全に保たれる。
- 森林循環についての知識を持った「行動する人」が育まれる。
- ゲームのポイント機能によって楽しみながら、国産木材製品を使う人が増える。
- 若い世代が森林に関心を持つことで、林業の活性化につながる。



研究者 メッセージ

私たちは課題研究を通して、国産木材や森林についての基礎知識や、森林資源を循環させることの大切さや大変さなど、多くのことを学びました。森林や木材製品は、普段から私たちの身近に存在しています。この提案によって森林に親しみを持ち、製品を買うときに「国産木材を使いたい」と意識してくれる人が増えることを期待します。

チーム
ウッドフレンズ

南山大学 3年 小野優梨子 星城大学 2年 神田志織
日本福祉大学 3年 中村美里 中部大学 2年 丹羽勇乃介
愛知学院大学 1年 加茂拓翔

ファシリ
テーター

一般社団法人SDGs
コミュニティ代表理事
新海洋子



課題

**建設業が「SDGsに貢献できる憧れの職業No.1」
になるための企画を検討せよ**

安心・安全な生活のためのインフラ整備等を担ったり、自然環境に最も近い場所で仕事をしたりと、建設業はSDGsと密接に関連する業種です。社会貢献により業界に新たな人材を呼び込み、その人材がより良い取組を生み出す好循環を目指しています。そこで、学生の目線で、建設業の魅力と価値を再発掘し、建設業がサステナブルな社会の実現に貢献するための企画を検討します。

解決策

**親子参加型広報大使インターンシップ
～建設業が「SDGsに貢献する人材」の育成を担う～**

課題解決の方向性
【考え方】

普段の生活の中で当たり前になり過ぎていて、分かりにくい建設業の魅力を、高校生が現場見学、働く人との交流等を通じて知り、同時に保護者の理解も図れるような企画が必要と考えました。高校生にプログラムを通じて「建設業＝SDGsに貢献する」という新しい憧れを提案します。

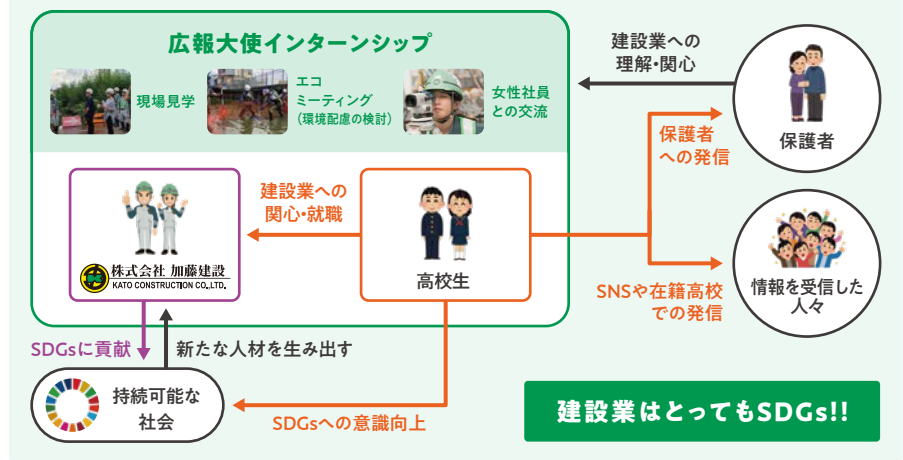
広報大使インターンシップの流れ

- STEP 1 建設業に興味を持つ
- STEP 2 インターンシップに参加し、建設業の魅力を学ぶ
- STEP 3 体験して得た建設業の魅力を、高校生が保護者や周りの人に発信する

建設業の魅力の一例
(研究員が実際に感じたこと)

建設業に入ること でSDGsへ貢献できる	最先端の技術 を活用している
現場の雰囲気 がフレンドリー	休日も取得 しやすくなっている

～私たちが目指す未来～



持続可能な社会へのポイント

- 人手不足解消により、建設業そのものがサステナブルになり建設業によるSDGsへの貢献を継続させられる。
- 高校生と女性社員との交流で建設業で働く女性を増加させる。
- 建設業と高校生が協力して取り組むことで、多くの人を巻き込み、社会全体のSDGsへの意識を向上させる。



**研究員
メッセージ**

当初、私たちは建設業とSDGsがどのように結びつくのか全く想像できませんでした。というのも、建設業に対して、環境破壊をしているというイメージを持っていたからです。しかし、今回のプロジェクトを通して、建設業が持続可能な社会になくはない産業であるということを知ることができました。あなたの身の回りにも、意外なところにSDGsに貢献する取組が隠れているかもしれません。

チーム
加藤建設

愛知県立大学 2年 神本生優
星城大学 2年 久野日花里
人間環境大学 1年 三宅悠太

ファミリー
テーター

NPO法人アスクネット
顧問 白上昌子



課題

サステナブルな社会へ繋げよう! 「みんな参加型のエコシステム」を企画せよ

サステナブルな社会の実現には資源の循環が不可欠ですが、インテリア業界においては、新しいものを作り、古くなれば廃棄する流れが未だに多くあります。商品やカタログのリサイクルの仕組みはあるものの、まだまだ不十分です。そこで、みんながエコな意識を持ち、みんなで取り組めるエコシステムの企画を検討します。

解決策

みんなで支える見本帳エコシステム ～サステナブルな見本帳に改革しよう!～

課題解決の方向性
[考え方]

年間150万冊発行されている見本帳のリデュース・リユースに注力した、普段から見本帳を使っている人々とともに取り組むことができるシステムを企画しました。

過去 大量生産・大量消費

見本帳生産量 環境配慮 利便性 市場ニーズ
約**150万**冊/年

現在 リサイクル

リサイクル率 サンゲツ本社に設置されたリサイクルセンターにて手作業で行われている
約**5%**

見本帳とは?

建築素材など商材そのものを貼りまとめたもの

未来 サステナブルな見本帳に改革しよう!

01 見本帳のリデュース 見本帳の生産量を減らそう!デジタル見本帳へ

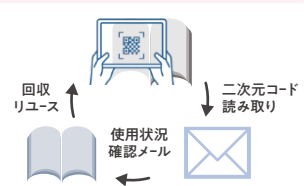
見本帳の施工イメージ画像をなくし 壁紙・床材などのシミュレーション機能
デジタル見本帳と併用

見本帳作成時の紙の使用量を大幅に削減!
デジタル見本帳で今まで以上のわくわく感を提供



02 見本帳のリユース 見本帳循環システムの導入

- POINT 1 二次元コードの搭載により見本帳の使用状況を管理
- POINT 2 使用されていない見本帳のリユースで増刷をなくす
- POINT 3 次回以降に見本帳の生産量の指標になる



持続可能な社会へのポイント

- 見本帳循環システムの導入により、見本帳の年間使用頻度の把握が可能となり過剰に生産される見本帳を減らすことができる。
- 見本帳の施工イメージ画像をなくすことにより、一冊あたりの資源消費量を大幅に削減することができる。
- 既存の見本帳とデジタル見本帳を併用していただくことにより見本帳ユーザーに今まで以上のわくわく感・使いやすさを提供できる。



研究者メッセージ

「家を建てる」という人生の中での非常に大きなイベントを迎えるお客様にとっても見本帳を中心としたビジネスモデルを展開するサンゲツにとっても見本帳はなくてはならない大きな存在です。私たちは、このように多くの人々に必要とされている見本帳だからこそ、見本帳を環境配慮型のシステムに移行させていく必要があると感じ、このような提案をする決断をしました。

チームサンゲツ

愛知大学 4年 西澤伸悟 相山女学園大学 2年 原舞帆
南山大学 2年 谷澤芹菜 愛知淑徳大学 3年 柳原琢馬
中部大学 2年 吉田愛奈

ファシリテーター

フィットラボ代表・環境カウンセラー
松本 イズミ



かがやけ★ あいちサスティナ研究所

課題

健康で豊かな食生活に役立つ
サステナブルな製品・サービスを考案せよ

Pascoでは「食糧難の解決が開業の第一の意義であり、事業は社会に貢献するところがあればこそ発展する」という創業の理念を掲げています。社会や生活の変化に伴い、健康意識は高まり、食を取り巻く環境も変化しています。そこで、人々の暮らしに寄り添い、持続可能かつ健康で豊かな食生活の実現に貢献できる製品やサービスを考えます。

解決策

パンを健幸食に！
～Health & Well-being for all with Pasco～

課題解決の方向性
[考え方]

私たちの食生活には、孤独な食事・偏食・食欲がない・食べたくても食べられないなど様々な課題があります。生涯、身体的・精神的・社会的に健康で幸せになる、「Well-being」に繋がる製品・サービスを提案します。

ターゲット	若者	課題	朝食を食べない	ターゲット	高齢者	課題	食べたくても食べられない
20歳	<p>マイスタイルパンの開発</p> <p>自分の生活に合わせた食べ方を選択する!</p> <p>異なる数種類の味を1セットに!!</p> <p>毎日食べても飽きない一週間分のご飯をこれ一つで!</p> <p>周りの人とシェアできるちょっとした差し入れや友達と食べるごはんに!</p>	<p>1パック2個の個包装!!</p> <p>丁度良いボリューム感 勉強や仕事での徹夜のお供に!</p> <p>ついシェアしたくなる2個入り</p> <p>小腹が空いたときのおやつとして!</p>	<p>アラーム音の製作</p> <p>朝食の調理音のASMRで食欲を掻き立てる!</p>	<p>ターゲット</p> <p>高齢者</p> <p>課題</p> <p>食べたくても食べられない</p>	<p>咀嚼しやすいアレンジレシピの提案</p> <p>食べやすいパンを提案!</p> <p>みんなでつくる</p> <p>みんなで食べる</p> <p>楽しさを共有!</p>	<p>学生ボランティア</p> <p>高齢者の食事をサポート!</p> <p>高齢者と若者の交流の様子</p>	80歳

食生活を豊かにし、誰もが生涯健幸でいられる社会に

持続可能な社会へのポイント

- 無理なく栄養不足を改善することで、心身ともに健康な生活をサポートする。
- 食生活課題を解決することで、誰もが生涯健康でいられる社会づくりに貢献する。
- 個包装のパンにすることで、必要な分だけ食べることができ、食品ロス削減に繋がる。

2 食糧をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナーシップで目標を達成しよう
----------	----------------	----------------	----------------------

研究者
メッセージ

今回の活動を通して、世代によって様々な食生活の課題があるということ学びました。私たちは、「豊かな食生活」を「食の選択肢を広げる」、「サステナブル」を「生涯好きなものを選択して食べられる」という定義づけを行いました。私たちの提案が、自分自身で健康であるための選択を行い、日常である食生活を健幸かつ楽しいものにするための手助けになることを期待しています。

チーム
Pasco

名古屋市立大学 3年 酒井莉子
愛知淑徳大学 3年 鴻巣真里華
愛知教育大学 2年 高山隼汰
愛知学院大学 1年 宮本彩加

ファシリ
テーター

愛知淑徳大学
コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)
秋田有加里



課題

にしんアプリやSNSを活用した
家庭や地域でのエコ活動を企画せよ

西尾信用金庫は今年で創立110周年を迎える県内で最も歴史のある信用金庫です。SDGsが掲げる「持続可能な社会の実現」は、地域と共存する信用金庫の命題であり、地域の皆様と共に取り組むことが重要と考えます。そこで、当庫の「にしんアプリ」を軸にSNSも活用した、誰もが手軽にエコ活動を始められる新たな企画を検討します。

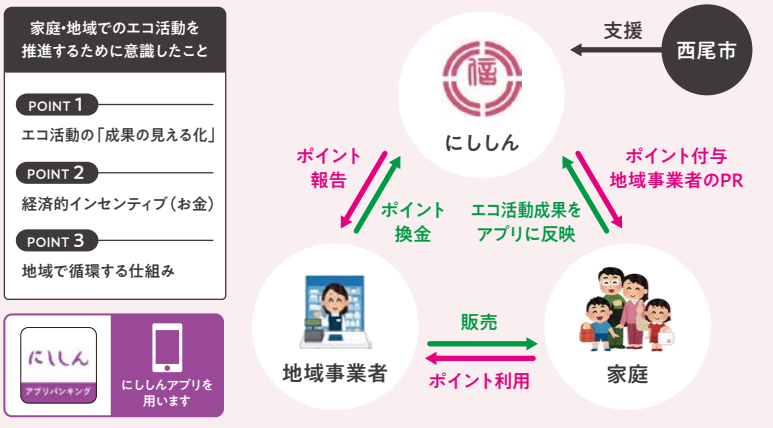
解決策

～みんなで取り組もう！～
地域で繋がる「にしエコトライアングル」

課題解決の方向性
【考え方】

西尾信用金庫は、“地域との繋がり”を大切にしており、家庭や地域を巻き込む力を持っています。この強みを生かすために、独自のアプリを用いながら、家庭や地域で取り組みたいエコ活動推進システムを企画しました。

エコ活動推進システム にしエコトライアングル



推進する仕掛け

1 にしんエコ博士におまかせ!
にしんアプリに3つの機能を追加します。

エコ活動成果の見える化機能 エコ活動実施状況のチェック機能 今後の改善に繋がるアドバイス機能

2 にしんエコラリーキャンペーン
キャンペーン期間中に地域のエコなお店を周り、通常ポイントに加えてボーナスポイントを獲得することができます。

これらの取組はLINEなどのSNSを使って発信!

エコ活動の具体例



持続可能な社会へのポイント

- 家庭でのエコ活動を推進することで、CO₂削減など地球温暖化の抑制に貢献できる。
- エコ活動実績をポイント化し、西尾市内での利用を促すことで経済の活性化に繋がる。
- 家庭や地域事業者などを巻き込むことで、西尾市全体でSDGsに取り組み、持続可能な社会を築くことができる。
- 家庭でエコ活動に取り組むことにより、次世代を担う子どもたちのエコ意識の向上を図る。



研究者
メッセージ

最初は金融機関がどのようにSDGsに貢献できるのか、難しく感じながら始まった課題研究でした。しかし話し合いを重ねるごとに、地域に根差している西尾信用金庫だからこその魅力や、強みがあることに気がきました。今回の提案をするにあたって、単にエコ活動を推進するのではなく、経済的インセンティブなども考えながら企画を考えるなど、多くのことを学ぶことができました。この「にしエコトライアングル」でエコ活動が推進され、地域全体が活性化していくことを願っています。

チーム
にしん

愛知教育大学 3年 家永萌音 星城大学 3年 辻俊輔
中部大学 2年 池田武琉 中部大学 2年 田近優太
名古屋経済大学 2年 川瀬芽衣

ファシリ
テーター

NPO法人
子ども&まちネット
理事長 水野真由美



課題

フードロス削減に向けて 子どもと取り組めるプログラムを提案せよ

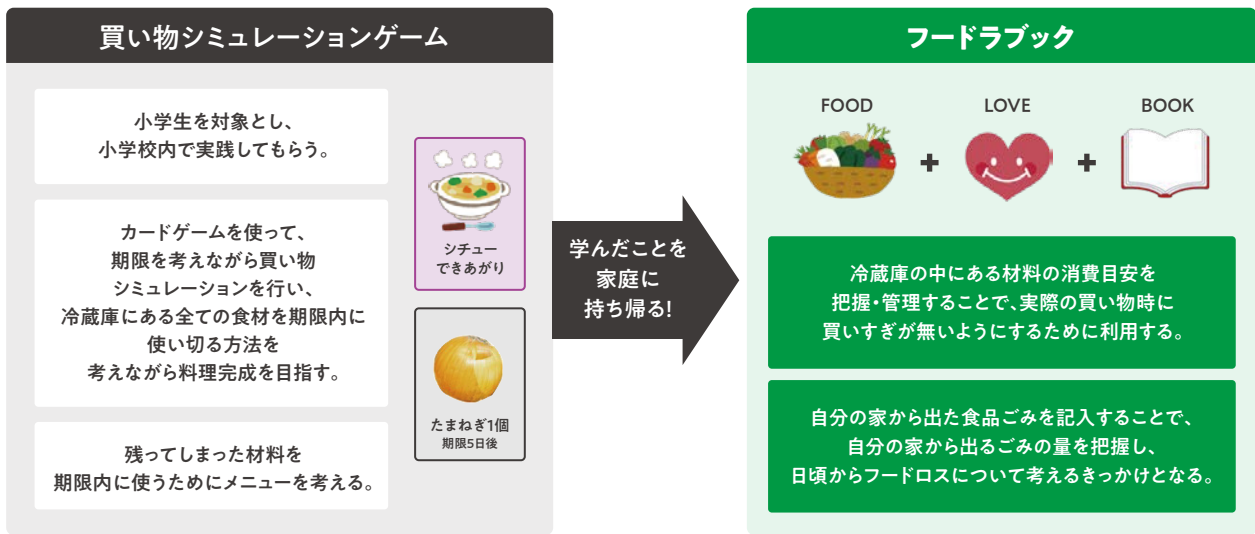
バローグループは“サステナビリティ・ビジョン2030”を掲げ、持続可能な社会の実現に向けた全員運動を展開しています。スーパーマーケット事業を中核とした当社では、重点課題である「フードロス削減」での地域社会貢献は重要な使命です。そこで、将来を担う子どもの具体的な実践につながるメディア・SNS等を通じた発信、教材作成等を検討します。

解決策

カードゲームでサステナブルな買い物の練習を！ 冷蔵庫内に期限切れ食材が無いようにしよう！

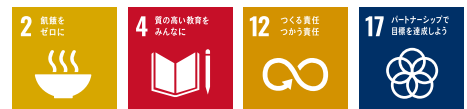
課題解決の方向性
[考え方]

子どもが食べ物に愛情を持ちフードロス削減への意識を高める食育が必要と考えた。そこで、バローが実施する「買い物シミュレーションゲーム」と、そこで得た知識を家庭で実践するための冊子「フードブック」の作成を検討した。



持続可能な社会へのポイント

- フードロスについて考えるきっかけの提供による、食に対する意識の向上。
- 家庭におけるフードロス削減の実践手法を楽しく学ぶ機会の提供。
- 家庭ごみの現状やそれに伴う責任の意識による、買いすぎの防止。
- ゲームを通じたバローと子どものパートナーシップ、さらにフードロスチェックや実際の買い物における親子間の協力推進。



研究者
メッセージ

私たちはバローとの対話を通して、子どもにSDGsに興味を持ってもらい、フードロスについて知ってもらうことが必要だと思いました。解決策によって家庭の課題を知り、愛を持って楽しく現実に向き合うことで、フードロスが減ることを期待します。

チーム
バロー

星城大学 4年 平野海斗
名古屋市立大学 3年 上杉さくら
愛知教育大学 1年 伊藤和花
椋山女子学園大学 1年 服部夏妃

ファシリ
テーター

le-puro
清水君代



課題

環境配慮型製品の普及を促進し、 持続可能な社会に貢献するためのPR戦略を検討せよ

マキタでは、排出ガスゼロ・使用時燃料ゼロの環境配慮型製品（バッテリー式草刈機等）の製造・販売を通じて、持続可能な社会への貢献を目指しています。しかし、環境配慮型製品の普及に当たっては、価格面や利便性の面でのハードルが高いことが多く、普及率が伸び悩むという現状があります。そこで、環境配慮型製品の普及を促進するための新たなPR戦略を検討します。

解決策

耕作放棄地再生プロジェクト


～環境配慮型製品の良さを実際に使用することで知ってもらい、製品の普及につなげよう～

課題解決の方向性
【考え方】

多様な主体の連携や「楽しさ」の要素を取り入れながら、環境配慮型製品の普及を促進するとともに、地域の課題解決にもつながるPR戦略を検討した。

環境配慮型製品の優れた特徴

- 環境負荷低減
排出ガスゼロ、使用時燃料ゼロ
騒音・振動が少ない
- 幅広い層の人々が使用可
軽量、操作が簡単




地域の課題

農業人口減少 → 耕作放棄地増加 → 食料自給率低下
環境悪化
災害リスク増加
など

耕作放棄地再生プロジェクト



環境配慮型製品を利用して
地域コミュニティで
耕作放棄地の草刈り

草刈りリンピックを開催して
草刈りを楽しもう

比較的育てやすい
作物・野菜
(例:なたね)を育てる

草を刈った後の土地を活用して
やりがいと楽しさを感じよう

土地を
管理し続ける

住み続けられる
まちづくり

●地域コミュニティで幅広い層の方々に使用してもらい、作業の行いやすさを体感! ●これまで口コミで製品を普及してきたマキタの特徴を活かしながら、普及を促進!

持続可能な社会へのポイント

- マキタの排出ガスゼロの環境配慮型製品の普及で環境負荷低減に貢献できる。
- 地域コミュニティの活性化や耕作放棄地問題の改善につながる。

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



15 陸の豊かさも守ろう



研究者メッセージ

企画の立案から発表まで非常に貴重な経験をさせていただきました。企業が持続可能な社会へ貢献することの可能性と難しさを感じました。私たちが考えた提案が持続可能な社会の促進に寄与できれば嬉しいです。

チーム
マキタ

- 名城大学 4年 神谷 亮汰 中部大学 3年 高橋 陸斗
星城大学 3年 谷田川 玲名 南山大学 1年 鬼頭 杏奈
中京大学 2年 鈴木 真梨子

ファシリ
テーター

アルト・ファシリテート
代表 葛原 祐季



これまでに参加いただいた研究員所属大学及びパートナー企業・団体

研究員所属大学 (27大学)

愛知大学、愛知学院大学、愛知教育大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、稲山女子園大学、星城大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、名古屋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、名古屋産業大学、名古屋商科大学、名古屋女子大学、名古屋市立大学、南山大学、日本福祉大学、人間環境大学、三重大学、名城大学

No	パートナー企業・団体 (参画当時の企業・団体名を使用)	年度	No	パートナー企業・団体 (参画当時の企業・団体名を使用)	年度
1	アイシン精機(株)	2015・2016	22	東邦ガス(株)	2015・2016
2	(株)アルペン	2023	23	東レ(株)	2019・2020
3	イケア・ジャパン(株)IKEA長久手	2017・2018	24	凸版印刷(株)	2019・2020
4	(株)伊藤園	2018・2019	25	豊島(株)	2021・2022
5	(株)ウッドフレンズ	2023	26	トヨタ車体(株)	2018・2019
6	花王(株)	2018・2019	27	中日本高速道路(株)	2018・2019
7	(株)加藤建設	2022・2023	28	(株)ナゴヤキャッスル	2016・2017
8	(株)コメダ	2021・2022	29	西尾信用金庫	2022・2023
9	(株)サーラコーポレーション	2020・2021	30	日本ガイシ(株)	2020・2021
10	(株)サンゲツ	2022・2023	31	(株)パローホールディングス	2022・2023
11	JAグループ愛知	2017・2018	32	ホーユー(株)	2021・2022
12	敷島製パン(株)	2022・2023	33	(株)マキタ	2023
13	新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	2017・2018	34	(株)三井住友銀行	2015・2016
14	スターバックスコーヒージャパン(株)	2017・2018	35	三井不動産商業マネジメント(株) ららぽーと名古屋みなとアクルス	2019・2020
15	積水ハウス(株)	2018・2019	36	(株)Mizkan Partners	2016・2017
16	ソニーグローバルマニュファクチャリング& オペレーションズ(株) ^{*1}	2015・2016	37	(株)三菱東京UFJ銀行	2016・2017
17	中京テレビ放送(株)	2020・2021	38	名鉄観光サービス(株)	2016・2017
18	中部国際空港(株)	2016・2017	39	(株)メニコン	2019・2020
19	中部テレコミュニケーション(株)	2020・2021	40	ユニー(株) ^{*2}	2015・2016
20	(株)デンソー	2017・2018	41	吉本興業(株)	2020・2021
21	東京海上日動火災保険(株)	2019・2020			

*1:2015年度はソニーイーエムシーエス(株) ※2:2015年度はユニーグループ・ホールディングス(株)

研究所の活動をご覧ください



公式Webページ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>



X (旧Twitter)
@kagayake_aichi



持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。愛知県は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの取組を積極的に推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

